

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和2年 2月 10日

事業所名：おりーぶ瑞ヶ丘

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習室とプレイルームを分けて、集中できるようにスペースを確保している。	事業所に行く機会がなかったのではわからない。	希望により実施予定。事業所内見学を実施していく。
	2 職員の適切な配置	中高生にあわせて夕方から、子どもの特性や学年に応じて個別療育が出来るように職員を配置している。またSTや児童指導員の配置も出来ている。	事業所に行く機会がなかったのではわからない。	希望により実施予定。事業所内見学を実施していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子ども達に危険が無いように設備のコーナーにクッションを取り付けている。自分の荷物が分かりやすいように配置を工夫している。	事業所に行く機会がなかったのではわからない。	希望により実施予定。事業所内見学を実施していく。また見学に来られない保護者のためにSNSで発信していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	インフルエンザ予防にもなる空間除去をしている。感染予防に手洗いを徹底しペーパータオルを使用している。	事業所に行く機会がなかったのではわからない。	希望により実施予定。事業所内見学を実施していく。また見学に来られない保護者のためにSMSで発信していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員に対して参画の呼びかけを行っている。	/	これからも呼びかけを続けていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施している。	/	これからも続けて外部評価を実施していき業務の改善につなげる。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部・内部研修ともに行っている。SSTを使い管理職による講習も行っている。	/	これからも続けて研修を実施していき業務の改善につなげる。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	児発管、指導員でモニタリングの情報を確認しながら作成している。	保護者の意見を良く聞いてくれて、子どもに合った計画を作成してくれている。	これからも情報を共有して支援計画の質を上げていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	各項目を作り、計画を作成している。		これからも情報を共有して支援計画の質を上げていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	各項目を作り、計画を作成している。		これからも情報を共有して支援計画の質を上げていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に基づいて子どもの特性に合った支援を行っている。	支援計画に基づいた支援が行われている。	これからも情報を共有して支援計画の質を上げていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	管理職、指導員を含むチーム全体で立案を作成してプログラムを実行している。		これからも情報を共有して支援計画の質を上げていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日と休日ではプログラムや学習支援等の時間配分を変えて支援を行っている。	子どもも指導員が気に入っており登所を楽しみにしている。	これからも情報を共有して支援計画の質を上げていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの学習の成長にあわせてプログラムをかえていく。		これからも情報を共有して支援計画の質を上げていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	送迎前に指導員が集まり、その日の担当や支援について話し合う。		これからも情報を共有して支援の質を上げていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	利用記録に記入する時に指導員が集まり、一日の様子を話し合い情報を共有する。		これからも情報を共有して支援の質を上げていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	管理者が中心になり記録の確認や支援の改善について話し合う。		これからも情報を共有して支援の質を上げていく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	チーム全体でモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。		これからも情報を共有して支援の質を上げていく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	一番良く関わっている指導員が担当者会議に参加している。		これからも情報を共有して支援の質を上げていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在対象となる利用者がいない		対象となる子どもの利用がある場合は実施していく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在対象となる利用者がいない		対象となる子どもの利用がある場合は実施していく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援員、学校からの依頼があった場合は支援者会議に参加している。		今後も続けて支援会議に参加し、良い支援につなげる。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	学校を卒業して今まで学んだ能力を発揮できるように情報を提供している。		今後も続けて支援会議に参加し、良い支援につなげる。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	業務に差しさわりの無い時間帯の研修には参加している。		今後も続けて研修に参加し、良い支援につなげる。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施していない。	保護者からの希望の声があがっていない。	反対される保護者の方もおられるので今のところ実施は難しい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していない。	保護者からの希望の声があがっていない。	反対される保護者の方もおられるので今のところ実施は難しい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明をしているが、そのあとも必要に応じて説明をおこなっている。	丁寧に教えてくれた。	今後も続けて行き、質を向上させていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎時に行っている、児発管がない場合は電話で直接説明をしている。	支援計画の口頭の説明がなかった。	支援計画の説明を徹底する。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	家族からの依頼があった場合は支援を行っている。	知らなかった。	希望により、実施していく予定。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳で一日の様子を連絡している。	疑問感じる対応があった。	送迎時に保護者の方に連絡できていない場合は、必ず後で電話で説明をする。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や家族迎いの時に管理職、指導員が助言している。	助言してくれて気持ちが楽になりました。	今後も続けて行き、質を向上させていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は実施していない。	保護者からの希望の声があがっていない。	保護者同士の連携の声が上がっていない。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理者が対応している。自宅訪問や電話連絡で迅速に対応している。	事業所に電話をしたが折り返しの連絡がすぐに来なかった。	今後も続けて行き、質を向上させていく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	それぞれの特性に応じて対応している。	送迎時のスタッフが子どもの様子を把握していないことがあった。	今後も続けて行き、質を向上させていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	SNSを使い発信している。	良く見えています。SNSの子どもの写真が特定できないようにしてくれているので安心です。	今後も保護者に分かりやすい様に続けていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付の書類庫に保存している。パソコン内にも情報を保存せず、USBに保存している。	契約時にしっかりと説明してくれました。	今後も続けて行き、信頼関係を持続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを策定している。職員にも周知を徹底している。	知らなかった。	保護者への周知を続けて行う。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に非常災害に備えた訓練をしている。	年に1回～2回だったと思う。災害が多いのでもう少し増やしてもいいと思う。	回数を増やすことも検討して、定期的に訓練を続けていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	マニュアルに基づいて職員研修を行っている。		今後も続けて行き、質を向上させていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体、生命に危険がある場合は実施することになっている。契約時に家族に説明している。		今後も続けて行き、質を向上させていく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にサポートブックに記入していただき、家族と連携して対応している。		安全に子どもが過ごせるように情報を共有させる。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事業所内で回覧して、捺印で共有を確認している。		安全に子どもが過ごせるように情報を共有させる。